大会基本規定事項

R５.５　現在

指導者・保護者のみなさまへ。
近年マナーが悪い方が増えてきています。下記の事項が守られない場合には、当該チームに**没収試合**等の厳しい処置が下されることを常に頭に入れておいてください。選手・保護者・指導者全員で素晴らしい大会をつくりましょう。

項　目	事項
駐車場	◆　各チーム６台+指導者１台までとする。（小学校会場は別途指示あり）駐車券は発行しない。 ・　役員駐車場（外部審判駐車場も含む）とチーム駐車場が区別されている場合は従うこと。 なお指導者（帯同審判・MC）はチーム駐車場に停めること。 ・　チーム帯同審判・MC と指導者が同一でない場合は、指導者１台分を帯同審判・MC 分とし、 指導者はチーム台数に含む。 ・　小学校会場などで駐車可能時刻を設定する場合は、その時刻に従うこと。（駐車場当番あり）
開場 （入館開始）	◆　開場時間は、試合会場ごとに異なる場合がある。審判割等に記載するので確認する。 ・　開場時間以前に到着しても、入館することはできない。役員・会場準備チームはこの限りではない。 ・　外でのアップは空いているスペースでしてもよいが、けがや事故等の責任を主催者はとらないので 各チームの判断の下に行うこと。 ◆　各会場での荷物置き場は、譲り合って使うこと。 ・　２階に観客席（座席）がある場合、１列目と２列目は試合を行うチームの応援席とするので、荷物置き場として使用しないこと。
靴	◆　体育館シューズ（バスケットシューズ、屋内用シューズ）と外ばきシューズは区別すること。 ・　チームの外ばきは、かごやビニール袋に集め各チームで管理すること。 保護者の靴も同様である。靴箱は使用しない。 ◆　フロアに入るときは、必ず体育館シューズ（バスケットシューズ、屋内用シューズ）を履くこと。 ・　サンダル、スリッパは不可。裸足でフロア内を移動しない。 ◆　トイレを使用する場合は、選手、保護者ともに備えつけのスリッパに履き替えること。 ただし、シューズ用スリッパを使用する場合は除く。
会場	◆　各会場にて準備開始時間が異なる為、審判割の時間にて試合を行う。 ・　フロアでの練習は、会場責任者の指示に従う。 ◆　以下は共通注意事項であり、守られていない場合、今後その会場を使用できないことも考えられる。 ・　体育館のはしごに登る等、小さい子に危ない行為は絶対にさせないこと。 ・　各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。 ・　会場での火気の使用やコンセント等の無断使用は厳禁である。 ・　喫煙は指定された場所で行い、吸い殻は各自責任を持って持ち帰ること。 （道路に捨てたり、近くの排水溝に捨てたりすることはやめてください。） 【重要】 ◆　チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物、たばこの吸い殻など）はチームで必ず持ち帰ること。放置厳禁。特に、業者に弁当を注文し、弁当殻を回収に来る際は必ず手渡しをすること。如何なる理由があっても放置して帰ることは許されない。
大会本部	◆　大会本部に常駐できるのは、大会役員と役員 ID を身に付けたものである。ただし指導者控え室が無い場合はこの限りではない。 ・　保護者の不要な出入りは禁止する。（役員チームはこのかぎりではない。） ◆　朝・帰りの大会本部・指導者控え室のチーム挨拶は不要。

項目	事項
受付	◆ 指導者またはチーム代表者は試合当日来場した際に本部にて受付をする。 ・ 来場したら各会場の本部で受付を行い、チーム ID を受け取ること。 ・ 帯同審判・MC は、氏名を事前に申告すること。 ・ 審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。（翌日以降は支払わない。） その際、旅費日当精算書に、氏名（自署）と住所を記載し、謝金と引き換えに受領欄にサインをすること。
代表者会議 連絡用テーブル	◆ 当日の朝、代表者会議は基本行わない。 ・ ホワイトボード又は連絡用テーブル等に注意事項を提示する。 ・ 受付時に代表はメモをとったり写真を撮ったりして確実にチームに周知すること。 ◆ 緊急時や変更点がある場合は代表者会議を行う場合がある。
ID	◆ アリーナ内に立ち入る際は、必ず JBA から配布されているライセンス ID(コーチライセンス ID、審判ライセンス ID)又はチーム ID を身につけること。 ・ アリーナ内に常駐できる者は、大会役員と役員 ID とライセンス ID を身に付けた者である。
メンバー変更	◆ ベンチ入りできるのは、パンフレットに記載している者である。 ・ 変更する場合はメンバー表に変更箇所を赤色で記入すること。 ・ 選手ではない中学生以下は、パンフレットに記載があってもベンチ入りはできない。 ・ メンバー変更があった場合は、変更届を受付時に提出し、本部のホワイトボード又は連絡用テーブル等に掲示する。これにより対戦相手への提出は不要とする。
スタートチェック	◆ 令和４年度より、「2022 バスケットボール競技規則」に基づき、スタートチェックはスコアシート上で行う。ゲーム開始予定時刻の 10 分前には、各チームのヘッドコーチは ・ チームメンバーの氏名と番号の確認 ・ ヘッドコーチとファーストアシスタントコーチの氏名の確認 ・ 最初に出場する 5 人のプレーヤーの明示 以上に同意後、スコアシートにサインをすること。スタートチェックは、チーム A のヘッドコーチが先にこの情報を提供すること。 ◆ スタートチェックの記入後は、変更は認めない。ただし、自試合までの間に選手が出場不可となった場合はこの限りではない。
ベンチ	◆ 試合中の水分補給は、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。 ・ 水の入ったバケツのフロア（ベンチを含む）への持ち込みは不可。
SNS	◆ ベンチエリアからのビデオカメラや iPad 等での写真撮影や動画撮影は認めない。 ◆ 撮影した試合の動画を無断でネット上に公開することも禁止する。
TO	◆ ミスを未然に防ぐために指導者もしくはルールを熟知した保護者 2 名が子どもたちの後方に立つ。 ・ 大会最終日等は大会役員が TO 主任になることがある。 ◆ 試合前にライセンスを所有している TO 主任若しくは審判は、当該試合のコーチのライセンス ID の確認を行う。
試合球	◆ 5 号人工皮ボールを使用する。 ◆ 各チーム持ち寄りとし、審判が試合球に適したと判断したボールを使う。
試合	◆ 審判割の左側のチームを淡色のユニフォーム着用とし、ベンチは TO に向かって右側とする。 ・ 自チーム 2 試合目以降同じ色のユニフォームを着用する場合は、両チーム間の話し合いで変更しても良い。ただし、ベンチは色に関係なく審判割の通りとする。 ◆ 試合が定刻を過ぎた場合、10 分後に次の試合を開始する。

項目	事項
審判	◆　１チーム（男女別）につき１名、帯同審判を必ず出す（兼任はできない）。 ◆　ライセンスは　D　級以上する（大会によって変更あり。大会要項を必ず確認すること。）。 ◆　試合当日、帯同審判を出せなかった場合は以下の対応をチームすること ・　諸事情により、申込と違うチーム帯同審判が審判に入る場合は、審判長に連絡すること。 ・　チームに該当者がいない場合、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を確保する。 ・　確保ができない場合は別途審判派遣費用を別途支払うこと。この費用に関しては代表者会議または大会実施詳細等で確認すること ◆　帯同審判はチームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。 ◆　各会場の審判主任は、審判長の許可が必要になるが当日の審判割当を変更できる権限を持つ。
MC	◆　MC 委員及びマンツーマン講習会を受講し、かつコーチライセンスを所持した各チームの指導者・保護者が行う。ただし MC 委員長がその技量を認めた者は、MC を行うことができるものとする。 ◆　各会場の MC 主任は、当日の MC 割当を変更できる権限を持つ。
頭部外傷 試合中の怪我	◆　試合中に選手が頭を打った場合、審判は直ちにプレイを中断する ◆　詳細は『競技規則　第５条　プレーヤー：怪我と介助』を確認すること ・　いかなる理由でもベンチスタッフが怪我をしたプレーヤーのためにチームベンチエリアを離れた場合は、コート上のプレーヤーの数が５人未満になってしまう場合を除いて、そのプレーヤーは交代をしなければならない。 ・　交代で出場したプレーヤーも、そのクォーターは出場済みとみなす。（※1，2，3クォーターの連続出場不可の対象となる。） ◆　頭部外傷においては、別紙のフローチャートを確認し、対応をする ◆　出場ができなくなった場合については、「選手の頭部外傷及び怪我等が生じた場合の措置について」を確認し、対応する
熱中症	◆　夏の交歓大会（オンザコートカップ）に限り、クォーター間を　２　分とする。 ・　冷房設備を使用している会場や天候等によっては、クォーター間を　１　分にするところもある。 ◆　指導者は試合前の練習やウォーミングアップ、試合中のタイムアウトやクォーター間において、積極的に給水をさせる。 ◆　チームは、屋外での練習時の帽子の着用や氷のうや濡れタオル等の冷却器具の活用、飲料水の十分な確保などの熱中症対策を講じなければならない。
感染症	◆　大会等でガイドラインが示されていればそれに沿って、各チームで対策を行う。
その他	

付則

2019 年　7　月　　大会基本規定事項作成

2019 年　9　月　　「大会本部・指導者控え室」「代表者会議」の追加、「お世話係の廃止」（２０１９年秋季大会より実施）、審判主任及びＣＯ主任の権限の追加、公営体育館の駐車可能時刻の撤廃

2020 年　6　月　　レイアウトの変更、「SNS」、「お世話係」、「感染症」の追加

2022 年　4　月　　「代表者会議」、「スタートチェック」の内容の変更

2022 年　7　月　　駐車可能台数の変更、お世話係の廃止、プレーヤーの介助の追加

2023 年　5　月　　帯同審判の対応の変更、感染症の内容変更、TO 主任の人数の変更